



堺橋

同事務所道路維持課は初弾工事として、厚木市の県道43号に架かり、一級河川・小鮎川をまたぐ堺橋の塗替え工事を実施中だ。

塗膜はく離作業では、同県管理の道路橋で初めて、小型のIHはく離工

小型IHはく離メクレル

神奈川県道路橋で初採用

堺橋塗替え 鉛・PCB安全除去へ

厚木土木事務所

神奈川県厚木土木事務所が、管内(厚木市・愛川町・清村)に架かる鋼橋で、塗膜が含有する鉛・PCBなど有害物を調査した結果、5橋で基準値を上回っていることが判明した。塗膜の安全で適切な除去に向け、同事務所は塗替え工事を今年度開始し、25年度の完了を目指している。

旭リポート(橋)が受注

法(注1)を初めて採用した。

この橋は、橋長56m、幅員10・3mの2径間連続RC床版非合成鉄桁橋。1972年(昭和47)年の供用開始で、建設時

5、中・上塗が長油性フタル酸樹脂で塗装された。

同課は、環境省の「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法(第4版)令和元年10月」に基づき、鉛・クロム・PCBの調査・分析を実施したところ、この橋で鉛とPCBが基準値を超えて

いることを把握(注2)。同課直営で塗替え工事設計を行い、塗膜はく離工法を複数検討した結果、安全性と経済性の観点から、IH工法を使うことにした。

採用に当たっては、同県東部漁港事務所が城ヶ島大橋(注3)で実施中の事例を参考にした。同橋では、塗膜はく離に大型IHはく離機(注4)が活用されたためだ。

注1 クッキングヒーターと同じ原理のIH(局所的な電磁誘導加熱)により、鋼材から塗膜をはく離させる工法。商標名「IH塗膜はく離機メクレル」。

注2 分析試験の結果、鉛4・9%(基準値0・06%)、クロム0・1%未満(同1%)、PCB0・93mg/kg(同0・5mg/kg)を検出。溶出試験では、鉛69mg/L(同0・3mg/L)、クロム0・05mg/L未満(同1・5mg/L)、PCB0・00055mg/L未満(同0・003mg/L)検出された。

注3 三浦市の城ヶ島と三浦半島間に架かる橋長575m、幅員11・4mの単純PCボステン桁橋9連+3径間連続鋼床版桁橋+単純PCボステン桁橋3連。60年(昭和35年)竣工で、同県東部漁港事務所が10年度から計画的な機能保全工事を継続中。漁港漁業整備法に基づく漁港道路位置付けられる。

注4 IH式PRP工法。

県単(その17)は、2協会 所定のRCII塗径間のうちA-I-P1間 装系で塗替える。

工事は今年5月、旭リポート(横浜市、渡辺竜太社長)が4148万1440円(税込)で落札。現在はIH工法と電動工



城ヶ島大橋



乾いた塗膜を作業ごとに回収(同事務所提供)

戸沢橋でも有害物の除去着手 第2四半期 3件の入札へ

厚木土木事務所は今年度、堺橋以外に県道22号横浜伊勢原線の戸沢橋でも鉛・PCBなど有害物除去に向けた塗装塗替え工事に着手している。この工事には17者が応札し、今年7月に平成ケンソー(横浜市港南区、加藤郁子社長)が8199万1250円(税込)で落札した。工期は23年2月末まで。

また、同事務所は第2四半期に堺橋塗替えの2期工事、戸沢橋塗替えの2・3期工事の入札も予定している。



IHはく離機で鋼材と塗膜を分離(上下の写真2点は同事務所提供)



スクレーパーで塗膜かき落とし

「ご安全に」声を掛け合い「第三者被害生じないよう」

本紙 現場取材

本紙は8月31日、堺橋塗替え工事現場取材した。7時55分、朝礼が始まった。といっても、一帯は交通量が多い所で、管理用地も狭いから、整列するスペースは屋外になり、元請・旭リポートの狭い現場事務所、6人が車座になった。文字通り、膝突き合わせで、といった感じだ。

しかし、緊張感が満ちていた。「上流側の桁の電動工具作業は」「下流側の桁のIHはく離作業について」。多くの案件が、次々に説明されていく。そして、不安行動



車座で朝礼(撮影用にマスクを外しています)

現場の人たちは、「有害物を扱う仕事なので、皆が信頼関係を築きながら、情報を共有して安全に仕事を進めていく」とも話した。

工事は7月下旬、セーファイRSKパネルによる足場架設に着手し、3日間完了。防炎ロープ、ブルーシート2枚の3重養生で飛散対策を施した。

IH工法の段取りを経て、8月初旬にはく離・素地調整作業を始めた。9月中旬から塗装工事に移行し、9月末に塗装完了・足場解体・完工を予定している。

「ご安全に」と声を掛け合い、作業員は現場に向った。皆は口をそろえて「小現場の人は、有害物を扱う仕事なので、皆が信頼関係を築きながら、情報を共有して安全に仕事を進めていく」とも話した。

工事は7月下旬、セーファイRSKパネルによる足場架設に着手し、3日間完了。防炎ロープ、ブルーシート2枚の3重養生で飛散対策を施した。

IH工法の段取りを経て、8月初旬にはく離・素地調整作業を始めた。9月中旬から塗装工事に移行し、9月末に塗装完了・足場解体・完工を予定している。

IH塗膜剥離機「メクレル」

塗膜剥離をより簡単に!

誘導加熱による層間剥離応用技術で人に優しく環境に配慮した新工法!

一般社団法人メクレル IH 塗膜剥離協議会

MEKURERU IH メクレル 検索

ASAHI 旭リポート株式会社

確かな技術力で橋や構造物の「再生」へ

塗膜剥離、素地調整から防食まで一貫した高品質な技術を提供します。

〒241-0011 横浜市旭区川島町 1723 電話 045-371-8076 / FAX045-371-8077